

看護学研究科 博士前期課程 ディプロマ・ポリシー

博士前期課程では、広い視野に立って看護学に関する専門分野の学識を深め、科学的な思考力を身につけて、保健・医療の場において研究成果を活用できる高度な専門知識と実践能力を備えた人材を輩出することを目標としている。

研究コースでは、高度な研究能力を備え、学際的な視野から独創的な学術研究を推進することにより看護の質向上に寄与できる優れた人材を輩出することを目標としている。

専門看護師・認定看護管理者・高度実践コースでは、各看護学分野における高度な専門知識と実践力を備え、多様な健康課題を解決でき、看護の質向上に寄与できる優れた人材を輩出することを目標としている。

博士前期課程	〈研究コース〉	〈CNS・認定看護管理・高度実践コース〉
①専門的知識・能力、研究分野以外の幅広い知識、国際性	学際的・国際的視野に立って看護学に関する高度な専門的知識をもち、それを活用して研究者、教育者、高度看護実践者として社会に貢献できる能力を修得している。	学際的・国際的視野に立って看護学に関する高度な専門的知識をもち、それを活用して研究者、教育者、高度看護実践者として社会に貢献できる能力を修得している。
②研究課題を発見し設定する力、仮説を立て研究方法等を構築する力	社会のニーズに基づき、国内外の先行研究より研究課題を明確にし、科学的な思考による独創的な学術研究に取り組むことができる看護研究能力を修得している。	社会の変化、対象のニーズに合ったケアを提供するために、多様な健康課題を見出し、エビデンスに基づいてその課題に取り組む能力を修得している。
③他人を納得させることができるコミュニケーション能力や情報発信力	研究内容を論理的にプレゼンテーションできる能力を修得している。	ケア対象者の個人および家族または地域に対して、生活の質を向上するための相談、教育を行う能力を有する。 ケアの改善、質の高い医療を提供するための同職種・他職種との調整能力およびリーダーシップを修得している。
④倫理観	臨床に根ざした看護倫理、研究者としての高い倫理観を修得している。	高い倫理観を持ち、ケアに関わる倫理的な問題の調整および解決に取り組む能力を修得している。
⑤看護実践力	各看護学分野における高度な専門知識と研究成果を質の高い看護実践と教育に活用できる能力を修得している。	各看護学分野における高度な専門知識に基づいた卓越したケアを提供するとともに、他の看護職者と協働して専門領域の看護ケアの質の向上を図る能力を修得している。

看護学研究科 博士前期課程 カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーとの関連

※太数字は強く関連するディプロマ・ポリシー

区分	専門分野	研究分野	コース	カリキュラム・ポリシー	関連するディプロマ・ポリシー		授業科目	単位数	配当年次
					研究コース	それ以外			
共通科目				<p>研究を遂行するための基礎となる知識を修得し、高度な看護実践をするための基盤となる高い倫理観を養う科目を学生の専門性に基づいて選択して学修する。</p> <p>さらにグローバル・グローバルな思考を培い、国際的な視野と実践に応用できる能力を培う。</p>	①④		看護理論	2	1・2
					①④		看護倫理	2	1・2
					①		看護管理論	2	1・2
					①③		コンサルテーション論	2	1・2
					①③		医療ポルトガル語	2	1・2
					②④		看護学研究方法概論	2	1・2
					①②③		看護学質的研究法	2	1・2
					①②③		多変量解析論	2	1・2
					①②③		調査研究法	2	1・2
					①		臨床薬理学	2	1・2
					①⑤		フィジカル・アセスメント	2	1・2
					①		病態生理学	2	1・2
専門科目	看護基礎科学	基礎生体科学	研究	<p>基礎生体科学・基礎健康科学分野における高度な専門性を深めるとともに学際的な視野を広げる。</p> <p>「演習・実習・実験」の科目では、基礎生体科学・基礎健康科学研究分野における国内外の先行研究を検討し科学的思考を培い、研究の方法論を演習または実験をとおして深めるとともに、研究フィールドにおいて実習する。さらに、「特別研究」では、社会のニーズから基礎生体科学もしくは基礎健康科学の視点から、研究課題を見出し、修士論文の研究指導を受けて、看護実践の質向上に貢献する看護学基礎研究・応用研究の基盤の修得を目指す。</p>	①		感染看護論	2	1・2
					①		腫瘍病態学	2	1・2
					①		ヒト分子遺伝学	2	1・2
		②⑤			基礎生体科学演習・実習・実験	6	1		
		②③④			基礎生体科学特別研究	8	1~2		
		基礎健康科学	研究		①		運動生理学	2	1・2
	①					家族社会学	2	1・2	
	①					疫学	2	1・2	
	①					ヘルスプロモーション論	2	1・2	
	①					看護人間工学	2	1・2	
	②⑤					基礎健康科学演習・実習・実験	6	1	
	総合看護学	基礎看護学	研究		①④		基礎看護学特論	2	1・2
①					看護援助・技術論	2	1・2		
②⑤					基礎看護学演習・実習・実験	6	1		
②③④			基礎看護学特別研究	8	1~2				
看護教育学		研究	①④		看護教育学特論	2	1・2		
			①④		教育学特論	2	1・2		
	①⑤			専門職教育論	2	1・2			
②⑤		看護教育学演習・実習・実験	6	1					
②③④		看護教育学特別研究	8	1~2					

区分	専門分野	研究分野	コース	カリキュラム・ポリシー	関連する ディプロマ・ポリシー		授業科目	単位数	配当年次
					研究コース	それ以外			
専 門 学 目	総合看護学	看護	研究	看護管理学分野における高度な専門性を深めるとともに学際的・国際的な視野を広げる。「演習・実習・実験」の科目では、看護管理学研究分野における国内外の先行研究を検討し科学的思考を培い、研究の方法論を演習または実験をとおして深めるとともに、研究フィールドにおいて実習する。さらに、「特別研究」では、看護管理学における研究課題を見出し、修士論文の研究指導を受けて、看護実践の質向上に貢献する看護学基礎研究・応用研究の基盤の修得を目指す。	①		看護政策論	2	1・2
					①		看護経済・経営論	2	1・2
					②⑤		看護管理学演習・実習・実験	6	1
					②③④		看護管理学特別研究	8	1～2
						①	人的資源活用論	2	1・2
						①	看護組織ダイナミクス論	2	1・2
	臨床看護学	成人慢性期看護	研究	成人慢性期看護学分野における高度な専門性を深めるとともに学際的・国際的な視野を広げる。「演習・実習・実験」の科目では、成人慢性期看護学研究分野における国内外の先行研究を検討し科学的思考を培い、研究の方法論を演習または実験をとおして深めるとともに、研究フィールドにおいて実習する。さらに、「特別研究」では、成人慢性期看護学における研究課題を見出し、修士論文の研究指導を受けて、看護実践の質向上に貢献する看護学基礎研究・応用研究の基盤の修得を目指す。	①④		成人慢性期看護学特論	2	1・2
					①		成人内科系疾病論	2	1・2
					②⑤		成人慢性期看護学演習・実習・実験	6	1
					②③④		成人慢性期看護学特別研究	8	1～2
						①	がん看護理論	2	1・2
						②③④⑤	がん看護援助論	2	1・2
専 門 学 目	臨床看護学	成人慢性期看護	がん看護学	がん看護学の理論・演習・実習科目をとおして、がん看護専門看護師としての高度なアセスメント能力、マネジメント能力、コミュニケーション能力を培い、ケアの質の改善につながる高度な実践能力の深化を目指す。さらに「総合研究」では、特定課題の研究結果として課題研究の研究指導があり、実践の質向上に貢献する応用研究の基盤の修得することを旨とする。	②④		緩和ケア特論	2	1・2
					①②		緩和ケア方法論	2	1・2
					②③④⑤		がんリハビリテーション方法論	2	1・2
					①②③④⑤		がん看護学導入実習	2	1
					②④⑤		がん看護学展開実習	2	2
					②		がん診断・治療学実習	2	2
	臨床看護学	成人急性期看護	研究	成人急性期看護学分野における高度な専門性を深めるとともに学際的・国際的な視野を広げる。「演習・実習・実験」の科目では、成人急性期看護学研究分野における国内外の先行研究を検討し科学的思考を培い、研究の方法論を演習または実験をとおして深めるとともに、研究フィールドにおいて実習する。さらに、「特別研究」では、成人急性期看護学における研究課題を見出し、修士論文の研究指導を受けて、看護実践の質向上に貢献する看護学基礎研究・応用研究の基盤の修得を目指す。	②③⑤		がん緩和ケア・地域連携実習	2	2
					①②③④⑤		がん看護学統合実習	2	2
					①②③④		がん看護学総合研究	4	1～2
					①④		成人急性期看護学特論	2	1・2
					①		術後侵襲論	2	1・2
					①②		周術期がんリハビリテーション看護論	2	1・2
臨床看護学	成人急性期看護	研究	成人急性期看護学分野における高度な専門性を深めるとともに学際的・国際的な視野を広げる。「演習・実習・実験」の科目では、成人急性期看護学研究分野における国内外の先行研究を検討し科学的思考を培い、研究の方法論を演習または実験をとおして深めるとともに、研究フィールドにおいて実習する。さらに、「特別研究」では、成人急性期看護学における研究課題を見出し、修士論文の研究指導を受けて、看護実践の質向上に貢献する看護学基礎研究・応用研究の基盤の修得を目指す。	②⑤		成人急性期看護学演習・実習・実験	6	1	
				②③④		成人急性期看護学特別研究	8	1～2	

区分	専門分野	研究分野	コース	カリキュラム・ポリシー	関連する ディプロマ・ポリシー		授業科目	単 位 数	配 当 年 次	
					研究コース	それ以外				
専 門 科 目	臨 床 看 護 学	小 児 看 護 学	研 究	小児看護学分野における高度な専門性を深めるとともに学際的・国際的な視野を広げる。「演習・実習・実験」の科目では、小児看護学研究分野における国内外の先行研究を検討し科学的思考を培い、研究の方法論を演習または実験をおして深めるとともに、研究フィールドにおいて実習する。さらに、「特別研究」では、小児看護学における研究課題を見出し、修士論文の研究指導を受けて、看護実践の質向上に貢献する看護学基礎研究・応用研究の基盤の修得を目指す。	①④		小 児 看 護 学 特 論	2	1・2	
					①		養育期家族アセスメント・援助論	2	1・2	
					②⑤		小児看護学演習・実習・実験	6	1	
					②③④		小 児 看 護 学 特 別 研 究	8	1～2	
	専 門 科 目	看 護 学	専 門 （ 家 族 看 護 師 ）	家族看護学の理論・演習・実習科目をおして、家族看護専門看護師としての高度なアセスメント能力、マネジメント能力、コミュニケーション能力を培い、ケアの質の改善につながる高度な実践能力の深化を目指す。さらに「総合研究」では、特定課題の研究成果として課題研究の研究指導があり、実践の質向上に貢献する応用研究の基盤を修得することを目指す。		①④	家 族 看 護 学 特 論	2	1・2	
						①②	家 族 と 健 康	2	1・2	
						①②	家 族 療 法	2	1・2	
						①②④	家 族 看 護 援 助 論	2	1・2	
						③④⑤	家 族 看 護 学 実 践 実 習	4	1	
						③④⑤	家 族 看 護 学 機 能 別 実 習	4	2	
						③④⑤	家 族 看 護 学 総 合 実 習	2	2	
						①②③④	家 族 看 護 学 総 合 研 究	4	1～2	
	専 門 科 目	広 域 看 護 学	老 年 看 護 学	研 究	老年看護学分野における高度な専門性を深めるとともに学際的・国際的な視野を広げる。「演習・実習・実験」の科目では、老年看護学研究分野における国内外の先行研究を検討し科学的思考を培い、研究の方法論を演習または実験をおして深めるとともに、研究フィールドにおいて実習する。さらに、「特別研究」では、老年看護学における研究課題を見出し、修士論文の研究指導を受けて、看護実践の質向上に貢献する看護学基礎研究・応用研究の基盤の修得を目指す。	①④		老 年 看 護 学 特 論	2	1・2
						①		老 年 医 学 特 論	2	1・2
②⑤							老年看護学演習・実習・実験	6	1	
②③④							老 年 看 護 学 特 別 研 究	8	1～2	
専 門 科 目		看 護 学	専 門 （ 老 年 人 看 護 師 ）	老年看護学の理論・演習・実習科目をおして、老年看護専門看護師としての高度なアセスメント能力、マネジメント能力、コミュニケーション能力を培い、ケアの質の改善につながる高度な実践能力の深化を目指す。さらに「総合研究」では、特定課題の研究成果として課題研究の研究指導があり、実践の質向上に貢献する応用研究の基盤を修得することを目指す。		①	高 齢 者 生 活 評 価 論	2	1・2	
						①④	老 年 看 護 家 族 関 係 論	2	1・2	
						①④	在 宅 老 年 看 護 援 助 論	2	1・2	
						①④	認 知 症 高 齢 者 援 助 論	2	1・2	
						③④⑤	老 年 看 護 学 高 度 実 践 実 習	4	1	
						③④⑤	在 宅 老 年 看 護 学 実 習	2	2	
						③④⑤	老 年 看 護 学 統 合 実 習	4	2	
						①②③④	老 年 看 護 学 総 合 研 究	4	1～2	

区分	専門分野	研究分野	コース	カリキュラム・ポリシー	関連するディプロマ・ポリシー		授業科目	単位数	配当年次	
					研究コース	それ以外				
専 門 学 科 目	広 域 看 護 学	精 神 看 護 学	研 究	精神看護学分野における高度な専門性を深めるとともに学際的・国際的な視野を広げる。「演習・実習・実験」の科目では、精神看護学研究分野における国内外の先行研究を検討し科学的思考を培い、研究の方法論を演習または実験をおとして深めるとともに、研究フィールドにおいて実習する。さらに、「特別研究」では、精神看護学における研究課題を見出し、修士論文の研究指導を受けて、看護実践の質向上に貢献する看護学基礎研究・応用研究の基盤の修得を目指す。	①④		精神看護学特論	2	1・2	
					①③		カウンセリング論	2	1・2	
					②⑤		精神看護学演習・実習・実験	6	1	
					②③④		精神看護学特別研究	8	1～2	
		神 看 護 学 師	専 門 精 神 看 護 学	研 究	精神看護学の理論・演習・実習科目をおとして、精神看護専門看護師としての高度なアセスメント能力、マネジメント能力、コミュニケーション能力を培い、ケアの質の改善につながる高度な実践能力の深化を目指す。さらに「総合研究」では、特定課題の研究結果として課題研究の研究指導があり、実践の質向上に貢献する応用研究の基盤を修得することを目指す。		①④	臨床精神看護学特論	2	1・2
							①	精神健康評価論	2	1・2
							①④	精神看護援助論	2	1・2
							①	臨床精神医学	2	1・2
							①	精神薬理学	2	1・2
							①③	心理・社会的療法	2	1・2
							①④	急性期精神看護論	2	1・2
							①④	地域精神看護論	2	1・2
							③④⑤	精神看護学治療技術実習	2	1・2
						③④⑤	精神看護学導入実習	2	2	
						③④⑤	精神看護学直接ケア実習	4	2	
						③④⑤	急性期精神看護学実習	2	2	
		③④⑤	地域精神看護学実習	2	2					
		③④⑤	精神看護学統合実習	1	2					
		①②③④	精神看護学総合研究	4	1～2					
	地 域 ・ 国 際 看 護 学	研 究	公衆衛生看護学・国際看護学分野における高度な専門性を深めるとともに学際的・国際的な視野を広げる。「演習・実習・実験」の科目では、公衆衛生看護学・国際看護学研究分野における国内外の先行研究を検討し科学的思考を培い、研究の方法論を演習または実験をおとして深めるとともに、研究フィールドにおいて実習する。さらに、「特別研究」では、公衆衛生看護学・国際看護学における研究課題を見出し、修士論文の研究指導を受けて、看護実践の質向上に貢献する看護学基礎研究・応用研究の基盤の修得を目指す。	①④		地域看護学特論	2	1・2		
				①④		国際看護学特論	2	1・2		
				①		在宅ケア論	2	1・2		
				①		老年保健福祉政策論	2	1・2		
				①		精神保健医療システム論	2	1・2		
				②⑤		地域・国際看護学演習・実習・実験	6	1		
				②③④		地域・国際看護学特別研究	8	1～2		
高 度 実 践		公衆衛生看護学	公衆衛生学の理論・演習・実習科目をおとして、保健師として必要な知識・技術・態度を修得する。さらに、保健師に必要なアセスメント能力、マネジメント能力、コミュニケーション能力を培い、ケアの質の改善につながる高度な実践能力の深化を目指す。さらに「総合研究」では、特定課題の研究結果として課題研究の研究指導があり、実践の質向上に貢献する応用研究の基盤を修得することを目指す。		①④	公衆衛生看護学特論	2	1		
					②③④	対象別保健指導論	2	1		
					②③④	特定集団支援論	2	1		
					②③④⑤	保健指導技術演習	2	1		
					②⑤	コミュニティ・アセスメント演習	2	1		
					①②④	公衆衛生看護管理論	2	2		
	①②④	保健医療福祉行政論	2	1						
	①②④	公共保健政策論	2	2						
	①②	応用疫学	2	2						
	②③④⑤	公衆衛生看護学実習	3	1						
	②③④⑤	継続事例支援実習	1	1						
	②③④⑤	特定集団支援実習	1	1						
	②③④⑤	公衆衛生看護管理実習	3	2						
	①②③④	公衆衛生看護学総合研究	4	1～2						

区分	専門分野	研究分野	コース	カリキュラム・ポリシー	関連する ディプロマ・ポリシー		授業科目	単位数	配当年次
					研究コース	それ以外			
専 門 科 目	ウ イ メ ン ズ ヘ ル ス ・ 助 産 学	ウ イ メ ン ズ ヘ ル ス ・ 助 産 学	研 究	ウィメンズヘルス・助産学分野における高度な専門性を高めるとともに学際的・国際的な視野を広げる。「演習・実習・実験」の科目では、ウィメンズヘルス・助産学研究分野における国内外の先行研究を検討し科学的思考を培い、研究の方法論を演習または実験をとおして深めるとともに、研究フィールドにおいて実習する。さらに、「特別研究」では、ウィメンズヘルス・助産学における研究課題を見出し、修士論文の研究指導を受けて、看護実践の質向上に貢献する看護学基礎研究・応用研究の基盤の修得を目指す。	①④		ウィメンズヘルス特論	2	1・2
					①④		周産期ケア特論	2	1・2
					②⑤		ウィメンズヘルス演習・実習・実験	6	1
					②③④		ウィメンズヘルス特別研究	8	1～2
	高 度 実 践					①③④⑤	ウィメンズヘルス教育論	2	1・2
						③④⑤	ウィメンズヘルスマネジメント論	2	1・2
						③④⑤	ライフサイクル助産論	2	1・2
						③④⑤	妊娠期助産論	2	1
						③④⑤	分娩期助産論	2	1
						③④⑤	分娩期助産論演習	2	1
						③④⑤	乳幼児支援特論	2	1
						①③④⑤	母子保健管理特論	2	1
						①③④⑤	周産期医学特論	2	2
						③④⑤	ハイリスク助産管理論	1	2
						③④⑤	産褥期助産論	2	1
						③④⑤	周産期ケア実習	2	1
						③④⑤	助産学実習	5	1
						③④⑤	助産学総合実習	4	1
						③④⑤	継続事例実習	2	1・2
						③④⑤	ウィメンズヘルス高度実践実習	2	2
	③④⑤	ウィメンズヘルスマネジメント実習	2	2					
	③④⑤	ハイリスク助産管理実習	2	2					
	①②③④	ウィメンズヘルス総合研究	4	1～2					